



持続可能な開発目標SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された**2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標**です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

当社は、UNWTO(国連世界観光機関) 定義づけた5領域に関わるSDGsターゲット事例に基づいた観光におけるSDGsの達成には5つの視点、①包括的・持続的な経済発展に貢献する観光 ②社会的な関わり、雇用拡大や貧困の撲滅 ③資源の有効活用、環境保護や気候変動 ④文化的価値・多様性・遺産保全に貢献する観光の役割 ⑤相互理解・平和構築・安全／安心に貢献する観光の役割が必要から、社のできることから取り組みます。



社のSDGs達成に貢献する課題目標－サステナブル・ツーリズム推進

⑤相互理解・平和構築・安全／安心に貢献する観光の役割

訪問地に住む人々は旅人との対話を通じて、その国の文化に触れることで、他国の人々やその文化への敬意を高めていく機会となります。旅人は訪れる地域の人々との対話を通じて、その地域の文化的価値を学び、その土地への愛着を深めていきます。その対話の接点生み出す体験等、旅行企画通じて平和への構築目指します。

当社取組目標：地域住民との対話の接点生み出す相互理解と平和構築を目指す旅行創造へ。

④文化的価値と多様性・遺産保全へ貢献する役割

当社旅行企画では、地域に根差したかけがえのない伝統・文化を継承し、現在の人々が持つ文化創造への取り組みを支援、また多様性（次世代の人々、マイノリティ等）を尊重し、様々な価値の存在を認め合う、多様性社会を醸成し、現在の生活の基礎となる、有形無形の歴史・文化遺産を、旅行企画通じて支える大切な役割を果たしていくこと目指します。

当社取組目標：旅行企画通じ、歴史・文化遺産価値創造と継承への理解生み出す旅行創造へ。

③資源の有効活用、環境保護や気候変動

当社はこれまでも、所有する観光バス増車や更新など随時最新鋭の新型環境配慮型日野自動車ディーゼルエンジン搭載したバス車両を導入しております。また、車両運行システムも無駄な加速防止など排出ガス減らす目的でエンジン回転数集中監視などエコドライブを推進しております。旅行企画でも環境配慮した旅行企画づくりへ強化します。

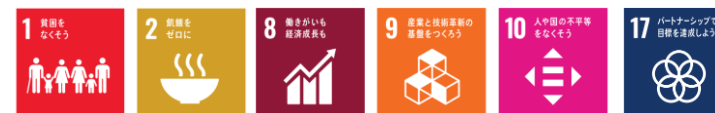
当社取組目標：環境への配慮目指した観光バス運行や旅行企画商品を目指します。



UNWTO(国連世界観光機関) 定義づけた5領域に関わるSDGsターゲット事例に基づき、自社の取り組み目標指標としました。



①包括的・持続的経済発展



当社が目指すサステナブル・ツーリズムによる、地域観光振興生み出せる経済活動に誰もが参加しやすい観光経済圏の醸成や地域の観光の経済効果が地域の皆様へ還元され実感得られている状態となりエコノミック・リーケージ（経済利益の地域からの流出）最少化を目指します。

当社取組目標：分散型旅行企画・地域体験企画など推進。



②社会的な関わり、雇用拡大や貧困の撲滅



当社はこれまでも積極的に外国人を雇用しており、地域社会へ協調しながら、コロナ禍により保育園へ外国人社員の就労派遣や地域イベントへの積極参加など地域交流参画など推進しております。又、障害者向けのユニバーサル旅行推進いたしております。

当社取組目標：多様性ある事業活動と地域との共生。

これまでの延べ外国人雇用者国籍10名（現在3名：中国・フィリピン・スリランカ）



社が取り組む目標のSDGs 達成に貢献する観光バス車両



A09C-VK (AT-VIII)

265kW (360PS) / 1,800rpm

1,569N・m (160kgf・m) / 1,100-1,600rpm



E13C-AE (ET-XVI)

331kW (450PS) / 1,700rpm

1,961N・m (200kgf・m) / 1,100rpm



充実の省燃費支援システム

省燃費運転をつねに確認。
エコランプ

走行状態に応じてメーターの背景色が変化。模範的な省燃費走行をサポートし、ドライバーが初心者の場合も燃費削減に貢献します。



- 主な青色点灯条件
- エンジン始動中 (アイドリング中)
 - アクセル開度大
 - クリーンゾーンを外れた高回転域を使用 (急速ギヤ脱走中) しての走行
 - 車速約80km/h以上で走行中
- 主な黄緑色点灯条件
- 低アクセル・エンジン回転数低回転
 - アイドリングストップ作動中
 - クリーンゾーン (最速ギヤ脱走中) での走行
 - 減速走行中

運転履歴のデータをもとに、より省燃費な運転に貢献。
エコツリー

ドライバーがエコ運転への意識を高めるシステムです。ドライバーの運転の状況をフィードバックしながら、より省燃費な運転の定着に貢献します。



運転の仕方で葉が増減します。
※写真は開発段階のために各ランプを点灯したもので、実際の走行状態を示すものではありません。■画面はハメ込み合成です。

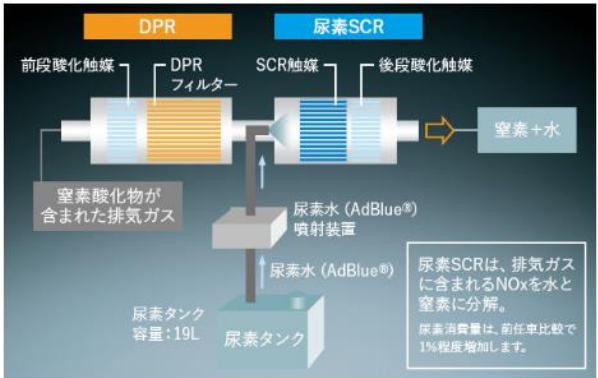
弊社では、日野自動車の環境性能に配慮した最新鋭ディーゼルエンジン搭載の観光バス車両随時投入しております。これまでもいち早く長距離旅行運行バス車両を随時導入更新しており、且つ、運行管理システムでもバス車両ごとに環境配慮目的にエンジン回転数など無駄な速度加速防止など運行管理業務上で適宜バス制動状態の監視実施しております。弊社では可能な限りの環境配慮への取組に挑戦しております。

SDGsでは持続可能な世界を実現するための17のゴールから構成されていますが、『**新型エンジン搭載車両の積極的な投入**』では、上記の4つの項目に貢献が可能です。

環境に配慮したバス車両毎のエンジン制動監視設定システム

①運行管理を行う項目を設定してください

速度超過 (一般道路) 注意: 61 Km/h 警告: 65 Km/h	エンジン回転数オーバー (一般道路) 注意: 2300 rpm 警告: 2500 rpm	事故 加速: 1 G/s 速度差: 0 Km/h/s
速度超過 (専用道路) 注意: 71 Km/h 警告: 75 Km/h	エンジン回転数オーバー (専用道路) 注意: 2500 rpm 警告: 2700 rpm	急ハンドル 加速: 0.35 G/s
速度超過 (高速道路) 注意: 101 Km/h 警告: 105 Km/h	エンジン回転数オーバー (高速道路) 注意: 2700 rpm 警告: 3000 rpm	連続運転走行時間 注意: 03 時間 30 分 警告: 04 時間 00 分 警告を繰り返し通知する 通知間隔: 00 分毎
急減速 (空車) 加速: 0.35 G/s 速度差: 0 Km/h/s	急加速 (空車) 加速: 0.25 G/s 速度差: 0 Km/h/s	アイドリング注意・警告 注意: 30 分 00 秒 警告: 40 分 00 秒 速度: 5 Km/h
急減速 (実車) 加速: 0.3 G/s 速度差: 0 Km/h/s	急加速 (実車) 加速: 0.2 G/s 速度差: 0 Km/h/s	



※1 Diesel Particulate active Reduction systemの略。DPRはトヨタ自動車 (株) の商標です。
※2 Selective Catalytic Reductionの略。
※3 AdBlue®はVerband der Automobilindustrie e.V. (VDA:ドイツ自動車工業会) の登録商標です。



GSEが取り組むSDGsでの目標貢献課題へ



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

旅行企画目指すべき地域事業創造への転換へ。



分散型旅行で促し、地域事業創造目指します。



SDGs先進取組
事業者との連携



地域社会・教育への貢献活動



ユニバーサル旅行の促進



コロナ禍における個人旅行型拡大から、弊社各種バスツアー-企画素材を活かし、観光素材（体験・グルメ・アクティビティなど）磨き上げ、ANAウェブサイトでの素材単品販売の充実をはかります。これにより各自治体の観光素材企画開発で地域活力を生み出し新たな機会創出を目指します。



GSE企画バスプランにて企画販売



- ①包括的・持続的経済発展
- ④文化的価値と多様性・遺産保全へ貢献する役割



現在の体験メニュー-素材単品販売の取組みを更に強化へ。



新たにバスプラン企画素材を、単品企画販売強化実施へ。

